

目標	<ul style="list-style-type: none"> ・造形的な能力を働かせるとともに、自ら作り出す喜びを味わい、様々な表し方や見方に触れ、創造的に表現する態度を育てるようにする。 ・材料などの特徴を捉え、想像力を働かせて主題の表し方を構想するとともに、美しさなどを考え、創造表現の能力、デザインや創造的な工作の能力を高めるようにする。 ・作品などを進んで鑑賞し、そのよさや美しさなどを感じ取り、感性を高めるとともに、それらを大切にできるようにする。 	
学期	学習内容・到達目標	学期 学習内容・到達目標
前期	<p>わたしの顔</p> <ul style="list-style-type: none"> ・顔をよく観察することから自分の思いを広げ、思いに合わせて材料や技法を選択することができることを知る。 <p>くねくねアート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飾ると動くものに関心を持って、楽しくつくる。 <p>わたしの町</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見慣れた風景から、気にいった場所を絵に表し、地域への愛情をもつ。 <p>ユラユラクルクル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クランクの仕組みを知り、作品づくりに生かすことができる。 	<p>心広がる場面</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物語や印象に残ったことから、想像を広げた場面を絵に表す楽しさを味わう。 <p>色を選んで（木版で表すと）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製作の手順を見通して、彫りや刷りの効果を確かめながら、工夫して表すことができる。 <p>ワクワクカーニバル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・風景と材料とを組み合わせ、景色をどのように切り取ると何がかわるか想像して新しい表現へ発展させることができる。 <p>生まれ変わった板たち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分なりの構想で、箱の作り方やもようの描き方を工夫することができる。 ・既習の木工技術を生かして、自分なりの方法で箱作りを楽しむことができる。 <p>きょうかしよびじゅつかん</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代の美術作品について、そのテーマや表し方、材料の扱い方などに親しむことができる。

図画工作科の評価

・図画工作科では四つの観点で評価します。

造形への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
自分の思いをもち、造形的な能力を働かせるとともに、自らつくりだすことや美しさなどを感じ取ることなど造形表現活動を積極的に楽しみ、喜びを味わおうとする。	見たことや感じたことなどをもとに想像力を働かせ、主題の表し方など自分らしい表現の構想をしたり、デザインの能力を働かせて、つくりたいものの意図や美しさを考えるなど豊かな構想をする。	表したい意図や周りの様子に関連づけながら、創造的な技能を働かせたり、造形感覚を生かしたりして、表し方を工夫する。	造形作品などに親しみ、その美しさなどを感じたり、表し方のよさを感じ取ったり、味わったりする。

・次のような方法で見えていきます。

製作態度	作品	ワークシート	アイデアスケッチ	発言内容	作品紹介の内容
展示方法	木取り				

おうちの方へ

- ・作品を持ち帰りましたら、作っていた時の話を聞いてやったり、よい点をほめてやったりしてください。できれば、家の中に展示していただいて、作品を大事に扱う心や態度を育てましょう。
- ・用具の取り扱いや手入れの仕方など学校でも指導しますが、ご家庭の皆さんからも声かけをお願いします。